



## 2019年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年11月6日

上場会社名 株式会社 PALTEK

上場取引所 東

コード番号 7587 URL <https://www.paltek.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 矢吹 尚秀

問合せ先責任者 (役職名) 取締役オペレーションサービスディビジョン本部長 (氏名) 井上 博樹

TEL 045-477-2000

四半期報告書提出予定日 2019年11月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2019年12月期第3四半期の連結業績(2019年1月1日～2019年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年12月期第3四半期	22,463	△1.7	56	△88.1	△16	—	△42	—
2018年12月期第3四半期	22,841	△8.0	472	△31.7	217	△71.3	119	△76.3

(注)包括利益 2019年12月期第3四半期 △44百万円 (—%) 2018年12月期第3四半期 120百万円 (△76.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年12月期第3四半期	△3.88	—
2018年12月期第3四半期	10.93	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年12月期第3四半期	15,392	9,388	61.0
2018年12月期	13,846	9,542	68.9

(参考)自己資本 2019年12月期第3四半期 9,388百万円 2018年12月期 9,542百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年12月期	—	0.00	—	10.00	10.00
2019年12月期	—	0.00	—	—	—
2019年12月期(予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2019年12月期の連結業績予想(2019年1月1日～2019年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	29,500	△3.5	250	△55.2	150	△49.9	75	△59.6	6.85

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年12月期3Q	11,849,899 株	2018年12月期	11,849,899 株
② 期末自己株式数	2019年12月期3Q	895,882 株	2018年12月期	895,794 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2019年12月期3Q	10,954,088 株	2018年12月期3Q	10,954,180 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等はさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項等については、添付書類3ページの「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
3. その他	8
継続企業の前提に関する重要事象等	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、米中貿易摩擦などの影響による中国経済減速などに伴い輸出および生産の下振れを受け景況感は悪化しています。一方で、人手不足などを背景に雇用・所得環境の改善が継続しており、個人消費は回復を持続していますが、米中貿易摩擦の影響などが継続しており先行きは不透明な状況です。

当社グループが属するエレクトロニクス業界においては、中国市場向けの半導体製造装置やロボットなどの産業機器などは低調に推移しています。

このような事業環境の中、当社グループの基軸事業である半導体事業においては、成長市場であるファクトリーオートメーションや半導体製造装置などの産業機器、通信機器、データセンター、I o T市場、A I活用分野向けなどにFPGA(※1)や特定用途IC、汎用IC、メモリなどを提案してまいりました。

当社グループの収益性向上のため重要事業と位置づけるデザインサービス事業においては、通信機器、産業機器、放送機器、医療機器向けに設計受託およびODM(※2)を提供するほか、新たにモデルベース開発の設計受託を行うべく体制の構築を推進しています。2019年7月には「第2回4K・8K映像技術展」に出展し、8K映像機器開発プラットフォームなどを展示し、グループ製品や開発体制などを紹介しました。また、2019年9月にはオランダ アムステルダムで開催された欧州最大の放送機器展「IBC 2019」に出展し、自社製品である4K映像伝送ソリューションを展示し、自社ブランド製品やOEM供給の海外市場開拓を図りました。

半導体販売やデザインサービスで培ったシステム提案力・技術サポート力をベースとし、最終製品レベルでソリューション提案を行うソリューション事業においては、社会的な課題解決に沿うようなソリューションの開拓、展開を行っております。具体的には、A Iパートナー企業との協業によるA Iソリューションの構築や、映像配信システム、産業向けI o Tシステム、乳幼児呼吸見守りシステムおよび梱包用紙緩衝材システムなどの提供を推進しました。A Iソリューションでは、株式会社ハカルスが開発した既存の外観検査装置や自動光学検査装置を補完するA Iベースの外観検査サービスの提供を開始しました。

また現在、世界的なプラスチックごみによる汚染の影響で使い捨てプラスチック製品の使用を制限する動きが広がっている中、当社は商品発送の際に使用されるプラスチック系緩衝材に替わる紙緩衝材活用による物流コスト低減を提案しており、2019年10月に開催された「JAPAN PACK 2019(日本包装産業展)」に出展し、多くのお客様から反響を得ることができました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は224億6千3百万円(前年同期比1.7%減)となりました。半導体事業については、医療機器や5G関連の計測機器、放送機器向けのFPGAや通信インフラ向けの特定用途ICなどが堅調に推移した一方で、海外向けの携帯情報端末向けのメモリ製品が大幅に減少したことにより、同事業の売上高は203億9千万円(前年同期比5.0%減)となりました。デザインサービス事業については、公共インフラ向けや航空/宇宙分野向けの設計受託やODMが堅調に推移したことにより、同事業の売上高は14億6千6百万円

(前年同期比17.6%増)となりました。ソリューション事業については、映像配信システムや産業向けI o Tシステムなどの販売が増加したことにより、同事業の売上高は6億7百万円(前年同期比355.3%増)となりました。

営業利益については、売上総利益率が前3四半期連結累計期間の12.4%から11.4%に低下したこと、および新規事業への投資を継続していることで販売費及び一般管理費が増加したことにより、営業利益は5千6百万円(前年同期比88.1%減)となりました。売上総利益率が低下した主な要因は二つで、一つは当社が仕入先に対して保有している仕入値引ドル建債権の評価額が円高進行により減少し原価が押し上げられたことで売上総利益が減少したためです。もう一つは、半導体事業において主要仕入先であるザイリンクス社とのビジネスで、主要大手顧客に対してはプロモーション活動を行わず、販売・オペレーション業務のみを担当することで、当該主要大手顧客での利益率が前第3四半期連結累計期間と比べ低下しているためです。

経常利益および親会社株主に帰属する四半期純利益については、為替差損を2千7百万円計上したことなどにより経常損失1千6百万円(前年同期は経常利益2億1千7百万円)、親会社株主に帰属する四半期純損失4千2百万円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益1億1千9百万円)となりました。

(※1) FPGA(Field Programmable Gate Array) :

PLD(Programmable Logic Device)の一種であり、設計者が手元で変更を行いながら論理回路をプログラミングできるLSIのこと

(※2) ODM(Original Design Manufacturing) :

発注元企業のブランドで販売される製品を設計するだけでなく、製造も行うこと。

(2) 財政状態に関する説明

① 財政状態の分析

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ15億4千5百万円増加し153億9千2百万円となりました。これは主に現金及び預金、受取手形及び売掛金が増加したこと等によるものです。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べ16億9千9百万円増加し60億3百万円となりました。これは主に短期借入金、支払手形及び買掛金、未払金等が増加したこと等によるものです。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ1億5千4百万円減少し93億8千8百万円となりました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純損失を計上したこと、配当金の支払いを実施したこと等によるものです。

② キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ7億6千6百万円増加し、27億9千1百万円となりました。

当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローにつきましては、税金等調整前四半期純損失を2千8百万円計上したこと、および売上債権、たな卸資産が増加した一方で、仕入債務が増加し、未収入金が減少したこと等により、4千4百万円の収入（前第3四半期は39億6百万円の収入）となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローにつきましては、有形固定資産および無形固定資産を取得したこと等により、5千万円の支出（前第3四半期は9千3百万円の支出）となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローにつきましては、配当金の支払いを実施した一方で、短期借入れを実施したこと等により、7億5千7百万円の収入（前第3四半期は36億7千6百万円の支出）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

売上高は当初の予想を若干上回って推移する見通しです。これは半導体事業において医療機器および計測機器向けなどのFPGAおよび通信インフラ向けの特定用途ICが堅調に推移すると見込まれるためです。

営業利益につきましては、ドル円相場が円高基調で進行したことにより、仕入値引ドル建債権の評価額の減少を含む為替レート変動によるマイナス影響が第3四半期連結累計期間（1月～9月）において295百万円発生し売上総利益の押し下げ要因となりましたが、売上高の増加が見込まれるため、想定通りに推移する見込みです。

一方、経常利益につきましては、第3四半期連結会計期間（7月～9月）において為替差損が57百万円発生したため、想定を下回って推移する見通しです。親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、経常利益の減少に伴い想定を下回って推移する見通しです。2019年12月期の連結業績予想につきましては、2019年11月6日（本日）に連結業績予想を修正しております。詳細につきましては、2019年11月6日（本日）に公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

また、2019年11月6日（本日）に、「主要仕入先であるザイリンクス社製品販売における取引先の異動および取引形態変更に関するお知らせ」について公表いたしました。これは、当社の主要仕入先である米国Xilinx, Inc.

（以下「ザイリンクス社」という）の製品販売において、2020年第2四半期より一部の大手顧客への販売を他代理店に移管することをザイリンクス社との間で合意したこと、および一部の大手顧客においてザイリンクス社が担当していた技術サポートに関する業務を当社が担当することについても、ザイリンクス社と合意したことを発表いたしました。これにより、当社グループの将来の業績に対して影響が生じることとなりましたが、当該事象については、2020年第2四半期からの影響となるため、2019年12月期の当社業績に与える影響は軽微であります。

詳細につきましては、2019年11月6日（本日）に公表いたしました「主要仕入先であるザイリンクス社製品販売における取引先の異動および取引形態変更に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2018年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,024,225	2,791,123
受取手形及び売掛金	6,354,442	6,951,191
商品	3,126,094	3,600,194
前渡金	53,034	13,921
未収入金	1,097,766	336,816
未収消費税等	476,469	962,527
未収還付法人税等	52,835	40,909
その他	165,793	70,971
貸倒引当金	△1,652	△1,346
流動資産合計	13,349,009	14,766,307
固定資産		
有形固定資産	143,050	151,124
無形固定資産		
のれん	13,376	11,146
その他	26,735	36,699
無形固定資産合計	40,112	47,846
投資その他の資産		
その他	314,795	427,050
貸倒引当金	△130	△130
投資その他の資産合計	314,665	426,920
固定資産合計	497,828	625,890
資産合計	13,846,837	15,392,197
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	945,770	1,380,234
短期借入金	2,010,000	2,880,000
未払金	718,003	1,156,860
未払法人税等	2,605	19,276
賞与引当金	56,982	203,389
その他	313,657	143,573
流動負債合計	4,047,019	5,783,335
固定負債		
退職給付に係る負債	47,976	15,200
役員退職慰労引当金	157,500	157,500
その他	51,499	47,425
固定負債合計	256,976	220,125
負債合計	4,303,995	6,003,461
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,339,634	1,339,634
資本剰余金	2,698,556	2,698,556
利益剰余金	5,990,962	5,838,909
自己株式	△481,858	△481,902
株主資本合計	9,547,295	9,395,199
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	334	157
繰延ヘッジ損益	△1,312	△865
為替換算調整勘定	△3,476	△5,754
その他の包括利益累計額合計	△4,453	△6,462
純資産合計	9,542,842	9,388,736
負債純資産合計	13,846,837	15,392,197

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)
売上高	22,841,426	22,463,743
売上原価	20,005,995	19,912,777
売上総利益	2,835,430	2,550,966
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	912,916	978,274
貸倒引当金繰入額	△147	△305
賞与	111,433	107,478
賞与引当金繰入額	188,314	201,203
退職給付費用	21,640	△2,457
賃借料	114,213	121,441
のれん償却額	743	2,229
その他	1,013,929	1,086,990
販売費及び一般管理費合計	2,363,043	2,494,854
営業利益	472,387	56,111
営業外収益		
受取利息	1,480	870
受取配当金	—	80
消費税等還付加算金	2,265	3,174
受取手数料	120	888
受取補償金	2,793	—
受取保険金	—	8,563
その他	2,135	2,141
営業外収益合計	8,795	15,718
営業外費用		
支払利息	13,407	14,931
支払手数料	33,385	4,385
為替差損	183,916	27,732
売上債権売却損	27,053	33,746
その他	5,556	7,935
営業外費用合計	263,319	88,730
経常利益又は経常損失(△)	217,863	△16,899
特別利益		
固定資産売却益	—	489
特別利益合計	—	489
特別損失		
和解金	—	12,000
特別損失合計	—	12,000
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	217,863	△28,410
法人税、住民税及び事業税	114,478	55,181
法人税等調整額	△16,364	△41,079
法人税等合計	98,114	14,101
四半期純利益又は四半期純損失(△)	119,749	△42,512
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	119,749	△42,512

(四半期連結包括利益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	119,749	△42,512
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	32	△177
繰延ヘッジ損益	△71	447
為替換算調整勘定	360	△2,278
その他の包括利益合計	322	△2,008
四半期包括利益	120,071	△44,520
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	120,071	△44,520
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—



## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	217,863	△28,410
減価償却費	35,998	31,712
のれん償却額	743	2,229
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△147	△305
賞与引当金の増減額(△は減少)	136,651	146,406
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△11,273	△35,621
受取利息及び受取配当金	△1,480	△950
支払利息	13,407	14,931
為替差損益(△は益)	62,759	66,684
有形固定資産売却損益(△は益)	—	△489
受取補償金	△2,793	—
売上債権の増減額(△は増加)	655,558	△612,015
たな卸資産の増減額(△は増加)	307,385	△485,439
仕入債務の増減額(△は減少)	△350,890	457,881
未収消費税等の増減額(△は増加)	110,003	△26,993
未収入金の増減額(△は増加)	3,030,597	697,366
前受金の増減額(△は減少)	374,248	△56,066
前渡金の増減額(△は増加)	34,258	39,113
未払金の増減額(△は減少)	△15,788	△40,714
その他	△89,311	△94,013
小計	4,507,790	75,304
利息及び配当金の受取額	1,480	950
利息の支払額	△13,359	△14,930
補償金の受取額	2,793	—
保険金の受取額	662	8,563
法人税等の還付額	0	58,827
法人税等の支払額	△592,886	△83,840
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,906,480	44,876
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
投資有価証券の取得による支出	△59,880	—
有形固定資産の取得による支出	△8,101	△28,670
有形固定資産の売却による収入	—	903
無形固定資産の取得による支出	△3,150	△22,339
貸付けによる支出	△100	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△22,911	—
その他	397	△289
投資活動によるキャッシュ・フロー	△93,746	△50,396
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△3,520,000	870,000
自己株式の取得による支出	△109	△43
配当金の支払額	△142,220	△109,424
リース債務の返済による支出	△13,678	△3,355
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,676,008	757,176
現金及び現金同等物に係る換算差額	10,079	15,241
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	146,805	766,898
現金及び現金同等物の期首残高	2,178,550	2,024,225
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,325,355	2,791,123

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。